

新登録薬剤紹介

フラスター液剤（メピコートクロリド剤）

取扱いメーカー：日本曹達㈱

フラスター液剤は、メピコートクロリドを有効成分とする植物生育調節剤である。メピコートクロリドはドイツのBASF社により生理活性作用を示すことが発見され、現在、綿の増収剤としてアメリカ合衆国など数カ所で使用されている。国内ではビーエーエスエフジャパン㈱及び日本曹達㈱によりぶどう（巨峰）の着粒増加剤として開発された。

〔作用特性〕

本剤は速やかに茎葉部より植物体に吸収され、ジベレリンの生合成（geranylgeranylpyrophosphate→ent-kaurene）を阻害する。植物体内のジベレリン含量の減少により細胞伸長が抑制され、その結果新梢の伸長が抑制される。花振り防止効果はダミノジッド同様に新梢伸長抑制による花房への養分転流増加や子房や胚のうの發育抑制による受精能維持等によると考えられる。本剤は花振りを起こしやすい巨峰に対して、高い着粒増加効果を示す。また果実品質や樹体にも影響を与えないので巨峰の着粒

増加剤として極めて有用である。

〔一般名〕 メピコートクロリド, mepiquat-chloride

〔化学名〕 1,1-dimethylpiperidinium chloride

1,1-ジメチルピペリジニウム＝クロリド

〔m.w〕 149.7

〔成分の性状〕 淡黄色澄明水溶性液体

〔m.p〕 285℃

〔v.p〕 $< 1.0 \times 10^{-7}$ mbar/50℃

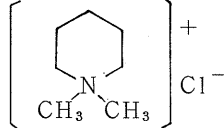
〔溶解度〕 水：202 g/100 g

メタノール：25 g/100 g

〔毒性〕 普通物 魚毒 A類

〔安定性〕 酸、アルカリ、熱、光に安定

〔商品名〕 フラスター, Frastar. Pix

〔構造式〕 

〔製剤〕 メピコートクロリド 44%液剤

（使用方法）

作物名	使用目的	使用時期	希釈倍数 （倍）	10アール当 たり散布量	本剤及びメピコートクロリ ドを含む農薬の総使用回数	使用方法
ぶどう （巨峰）	着粒増加	新梢展開葉7 ～8枚の時	500	100～150 l	1回	散布

（使用上の注意）

○ 本剤の高使用濃度は、薬害をまねく恐れがあるので、所定の希釈濃度を厳守する。

○ ぶどうの「甲斐路」には薬害を生ずるので、付近にある場合には、かからないように注意する。